

第34回全国高校生銃剣道大会 新型コロナウイルス感染防止ガイドライン

(公社) 全日本銃剣道連盟

《はじめに》

本ガイドラインは、第33回全国高校生銃剣道大会を開催するにあたり、新型コロナウイルスの感染を防止するため、大会参加者が遵守すべき基準及び留意点について、公益社団法人全日本銃剣道連盟の「稽古及び大会等の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」(令和2年6月19日)及び財団法人日本スポーツ協会が発表した「スポーツイベント再開に向けたガイドライン」等に基づきまとめたものである。

なお、本ガイドラインは、現段階で得られている知見等に基づき作成しており、今後の知見の集積及び各地域の感染状況を踏まえて、見直すことがある。

《大会参加者の定義》

本大会における大会参加者とは、大会役員、来賓等、審判員、競技役員、選手、監督、引率者等(選手の保護者含む)をいう。

《大会の参加及び運営》

1. 大会参加者に本ガイドラインの内容を周知徹底する。
2. 大会参加者は本ガイドラインを遵守し、安心・安全な大会の運営に協力する。
3. 以下の事項に該当する大会参加者は、参加並びに出場することができない。
 - (1) 大会当日体調がすぐれない者(例:発熱・咳・咽頭痛等の症状がある場合)
 - (2) 大会前2週間に以下の症状または事項に該当する者
 - ア. 平熱を超える発熱
 - イ. 咳、喉の痛み等、風邪の症状
 - ウ. だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)
 - エ. 嗅覚や味覚の異常
 - オ. 体が重く感じる、疲れやすい等
 - カ. 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - キ. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ク. 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
 - ケ. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
4. 大会参加者は、別紙第1に示す健康観察記録を大会当日に提出する。主催者は個人情報の取り扱いに十分注意し、大会終了後1ヶ月以上保管する。
5. 体育館アリーナ入口・観客席には、アルコール等の手指消毒剤を設置する。

6. 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する。
7. 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽する。
8. 選手が試合を行う（面を着装している）際は、武道具店等が販売する面専用の「フェイスガード」等を使用し、面を着装していない時はマスクの着用する。審判員・競技役員も試合中はマスクを着用する。
9. 試合時の計時用ホイッスルは電動のものを使用する。
10. 更衣室、休憩・待機スペースでは、換気に配慮し、他の参加者と密になることを避ける。
11. 昼食時や休憩時のスペースで他の大会参加者と間隔を保つことが難しい場合、一度に入室等する数を制限する等の措置を講じる。
12. 指定された教室等以外の校内の部屋には立ち入らない。
13. 飲食物の提供時は、参加者が飲食物を手にする前に、手洗い・手指消毒を行うよう声を掛ける。
14. スポーツドリンク等の飲料は、ペットボトルや使い捨ての紙コップで提供する。
15. ゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛る。ゴミを回収する人は、マスクのほか手袋を着用する。手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒する。

《入場及び受付》

1. 入場口にはアルコール等の手指消毒剤を設置し、大会参加者は手指消毒を行って入場する。
2. 大会参加者は、入場の際に主催者が行う検温を受ける。検温は非接触型体温計を使用する。測定の結果、37.5度以上体温がある者は入場できない。
3. 検温及び受付時の混雑を極力避けるため、スペースのある場所で行い、参加者が距離において（2メートルを目安（最低1メートル）並べるように目印の設置等を行う。
4. 大会参加者は、別紙の健康観察記録用紙を提出する。提出の無い者は入場させない。
5. 受付場所にはアクリル板、透明ビニールカーテンなどを設置する。
6. 保護者等の入場・観戦を認める。

《会場内での留意事項》

1. 面を装着している選手以外の大会参加者は、会場内ではマスクを着用する。
2. こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
3. 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2メートルを目安に最低1メートル）を確保する。
4. 大声での会話・応援・指導等を行わない。
5. 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従う。
6. 飲みかけの飲料等を会場内に放置せず、各チームで管理し、飲み切れなかったペットボトル等は持ち帰る。

《開会式・閉会式》

1. 入場行進は行わず、整列した状態から行う。
2. 2mの間隔をあけて整列する。

3. 国歌は演奏のみ行い、斉唱は行わない。
4. 表彰時のメダル掛けは行わず、箱に入った状態のメダルを授与する。

《参加者に新型コロナウイルスの感染が疑われる場合の対応》

参加者に発熱等新型コロナウイルスの感染が疑われる場合は、会場体育館内の役員室に誘導する。

役員室において本大会の医療担当者（医師）が症状を確認し、必要と判断した場合は、「宮城県受診・相談センター」に連絡をして指示を受ける。

宮城県受診・相談センター 022-398-9211

《発熱選手が出た場合の所属チームの出場》

検温時に参加者に37.5℃以上の発熱者がいる場合は、同名チームに所属する者全員を入場させない。

大会途中に前項の対応をされた参加者と同名チームに所属する者は、以後入場させず、試合にも出場させない。

《その他》

1. 指定場所以外での飲食は行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにする。また回し飲みはしない。
2. 昼食は、交代しながら摂るなど食事場所の密集を避けるようにする。
3. 会場は常に換気を行う。
4. 大会終了後は、体育館内の消毒を行う。
5. 大会等終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。
6. 試合・審判に係る事項は別に定め、審判・監督会議にて通知する。